

由利

立教188年 令和7年

3月号



徳沢分教会春季大祭

書式を変更: フォント:(日) M S 明朝, フォントの色:
ユーザー設定の色 (RGB(255,153,255))

三月

一月

一ヶ月間の主な祭り

一日	委員部長の集い
二日	支部例会(由利道)
三日	北蒲原分教会月次祭
四日	徳沢分教会大祭
五日	御本部月次祭、由利婦人会
六日	大教会役員当番
七日	お願いづとめ
八日	おさづけ取り次ぎ日
九日	秋田中村宅おつとめ
十日	会長理事会
十一日	由利分教会月次祭

今月の言葉

由利分教長

佐々木 正明

今月の言葉は天理教本愛大教会発行、「初代會長 実踐教理集」より抜粋いたします。

ほこり

八つの心得違いを、ほこりという。

そのほこりを積んだり、そのほこりがだんだん今生持ち越していると、これがいんねんとなる。それから、いんねんというのは、今生の持ち越

しがいんねんであつて、今生十五歳から今日までの心得違いが、ほこりである。「今生はほこりをつんだ、前生はいんねんをつんだ」というように悟つてるのである。

心の姿が見えず、ほこり、いんねんも姿が見えないから、なかなか悟りにくいのであるが、これも入浴や洗濯、家の掃除と同じことであり、心にも前生、今生十五歳からのほこりがつもり重なつていることを悟らなければならぬ。

とかく人間は、心を逆にして、心を騒がせるのである。心が落着かず動搖するのである。その動搖が心にほこりをつむことになる。何事も神様におまかせするよう注意せねばならない。

人間は、とかく高慢の心を持つているために、恩にきせる知恵が多すぎるのである。人間に向かつて恩にきせるようなものは、親神様に対し、知らず知らず恩にきせる心となつて、親不孝の道中となり、親に頭を下げさせることもあるのである。

親神様は決して罰をあてるのではない。神あつて人間ということを知らずに、人間あつて神という主客転倒した人間本位、化学本位、物質本位の考えが違つていたのである。心の苦しんだ後に、身上の苦しみとなつて、心身ともに二重に苦しむのである。

人間は、よくとこうまんがなければならぬけれども、よくの程度をこせば、胴体の病気となる。また、こうまんの心を使いすごすと、首か

ら頭へかけての病気となる。また手足は、日々、よくとこうまんに使われているので、よくを忘れて親神様に御礼奉公しなければならないよう教えられたのである。

いである。いいつけ口と、貰うことが大嫌いである。

婦人会委員部長の集い開催

去る三月一日、大教会に於いて委員部長の集いが開催されました。

初めに大教会长様のお話、その後、

北洋支部長様より挨拶、今年度の婦人会活動報告と続きました。

その後河原町大教会长様の講話のDVDを視聴しました。

「けつこう源さん」で知られる初代会長様は、①与えを喜ぶ②喜びに嬉しいことを喜ぶ③喜べないことを喜ぶ、という姿勢を徹底して通られたことで、失明の危機をご守護頂いたという話を聞かせて頂き、日々うれしいという種まきをすることが大切であると学ばせて頂きました。

午後からは各班に分かれ「今一番悩んでいることは何ですか?」といふテーマでねりあい、色々な意見やアドバイスがかわされました。最後に三名の方の三分間スピーチがあり、終了しました。



新たな前進に向かって

徳沢分教会、春季大祭執行

去る三月四日午前十時半より同教会の春季大祭を、賑やかに執行させて頂きました。

同教会ではこれまで余儀なき事情から、年に一回都合の良い日曜日に、由利からの応援の方々と一緒に月次祭を執行させて頂いてきました。

しかしながら、やはり御本部で祭典の理のお許しを頂いた日に執行する事が本来の道という事から、三月四日を春季大祭、十一月四日を秋季大祭の日と定め、(昔は、由利でも三月と十一月に大祭を執行していました。)後継者夫妻もこの大祭の日は、仕事を休んででも実行すると心定めにして頂いた事から、昨年の秋季大祭に続き、同日に春季大祭を執行させて頂きました。

当日は、当教会の方々はもちろんの事、矢島町の会長さんや部内の奥さん方も応援にかけつけてくれて、いかにも助け合いの心が凝縮されたような大祭となりました。
徳沢分教会のこれからの一歩一歩の発展を心より御期待申し上げる次第です。

☆教会よりお知らせ☆

◎三月二十三日(日)朝づとめ終了後より由利分教会春季靈祭をさせて頂きます。ご参拝よろしくお願ひします。

◎四月の月次祭は、四月九日(火)です。のでお間違のないようにご参拝下さい。

♪婦人会よりお知らせ♪

- ①毎年恒例の「感謝の心を日々に」の御供を、来月四月九日の月次祭に集めさせて頂きます。
- ②四月は婦人会費納入月となります。年間一、〇〇〇円です。

4月祭典役割表

神殿講話 東滝沢分教会会長

開扉・献饌の男の子の方は十時まで、女子の方は十時二十分までおつと
め着を着用し、神殿にて集合下さい。

胡弓	三味線	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	チャンポン	笛	地方(副)	地方(主)	ておどり						会長	祭主
										佐々木	雄物川	扈者	贊者	指図方			
小川道子	小林理英子	木内教子	小林大晃	仁賀道	由利道	亀田布	利翔	佐々木由正	齋藤清一	東滝沢	由利東布	雄物川	会長夫人	矢島町	佐々木めぐみ	佐々木由正	雄物川
豊島末子	木内美歩	中村柳子	斎藤清一	豊島栄二	木内正信	佐々木由正	齋藤賢爾	佐々木優	豊島島	佐々木義實	利翔	由利東布	東滝沢	小松敬子	伊藤奈律子	松田理奈	由利東布
畠山清香	斎藤美和子	小川昭心	小川正信	木内廣	木内正信	桑原	小野繁樹	佐々木由明	豊島栄二	豊島島	伊藤伸	利翔	佐々木由正	佐々木良美	小川貴美子	豊島絢子	東滝沢

部内だより

上之浜分教会

会長が今月から教養係、四月からは一期講師で四ヶ月おりません。来月の修養科生になればまるまる一緒にできますので、是非修養科へ。